



やえ せ桜まつり

多彩なイベントに大盛況

第一回やえせ桜まつりが2月3日(土曜日)、4日(日曜日)、八重瀬公園内で開催され、町内、町外から約7千人近い行楽者が訪れました。今年は暖冬の影響で開花が例年より1週間も遅く全体的に2分咲き程度でしたが、公園内の階段側では、薄紅色の花を咲かせた木々が見られ、多くの方が桜の木の下で記念撮影する姿が見られました。

旧東風平町の時からさくら祭りを見に来ているという宇東風平に住む神谷さんは、「具志頭の伝統芸能もより多く披露され前回よりもいい祭りになっていると思いますね」とうれしそうに話しました。

桜の見頃は、まつりが終わってから2週間先になりましたが、2月の中旬頃まで八重瀬公園内には、家族連れや観光客が多く訪れにぎわいを見せていました。



心温まるライトアップ

1月28日から2月12日まで八重瀬公園内では、町内の120個の行灯と5つの照明によるライトアップを行いました。今回は、町内の保育園生たちや一般の方々から手作りの作品が階段や展望台に設置され、訪れた家族連れやカップルなどを落ち着いた雰囲気にならせていました。那覇市から訪れた屋宜さんは、「シーサを形造った行灯を見て「よく仕上がりについて心が温まります」と手作りの行灯を眺めていました。



新しい春の訪れ に笑顔

桜まつりには、家族連れやカップル、元気な子どもたちの姿がよく見られ、新しい春の訪れを楽しんでいる様子でした。その中でたくさんの方の素敵な笑顔に出会うことができましたので紹介します。



ひょうきんな 天狗に笑い 真剣な立ち合いに拍手

会場の広場では各団体から多彩な芸能が上演される中、姉妹提携を結んでいる高知県香南市からは、野市町立山神社棒術獅子舞保存会の人たちにより棒術・獅子舞を披露してくれました。舞台裏から勢いよく獅子が現れると、天狗が独特のテンポで腰を振りながら登場しそのひょうきんな様子が会場にいた人たちの笑いを誘っていました。また、二人相対して演じる棒術は、静かな演技の中にも真剣な立ち合いを見せ会場にいた人たちからは、大きな拍手がわき起こっていました。

